

森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1192

令和7年7月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



シモツケ（鶴見緑地公園・大阪市内）

トピックス：「水都おおさか 森林（もり）の市」の変遷（技術普及課）

ニュース：兵庫森林管理署、岡山森林管理署、島根森林管理署

花草木：ササユリ

我が署のスタッフ：滋賀森林管理署

森林事務所等紹介：大津森林事務所（滋賀森林管理署）

国有林最前線：福井森林管理署

「水都おおさか 森林（もり）の市」の^{へんせん}変遷

【技術普及課】

「おおさか森林の市」は、都市に暮らす人々に森林の大切さや木材の魅力を伝えることを目的に、1987年（昭和62年）からスタートしたイベントです。当初は、大阪営林局（近畿中国森林管理局の前身）独自の取組でしたが、現在は森林・林業に関わる行政や関係団体など14団体で構成する「水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会」で開催しています。大阪市北区の大川沿いを会場に、毎年多くの来場者でにぎわうこのイベントは、今年（2025年）で第37回を数えるまでになりました。長い年月を経て「森林と都市をつなぐ場」として、地域とともに歩んできた近畿中国森林管理局の取組です。



第1回森林の市（1987年）



吉村局長の挨拶（当時）



切り株の販売（第1回森林の市）

当初の頃は、職員手作りの木製品や山の幸（シイタケ等）の販売、苗木の配布や竹工作遊びなど（竹とんぼ・竹馬・水鉄砲）、規模は小さく限られた内容でした。しかし、回を重ねるごとに、木工体験や丸太切り、苔テラリウムづくりといった体験型のブース



親子のモックン作りを手伝うスタッフ
（第25回森林の市・2011年）



つるかご教室
（第26回森林の市・2012年）

ムづくりといった体験型のブースが加わり、子どもから大人までが参加しやすいイベントへと変化していきました。

現在では、ジビエ（野生動物の肉）料理のキッチンカーや地元の木製品販売、林業機械の展示なども行われ、まさに「見て・ふれて・



体験キッズボート
（第26回森林の市・2012年）



ドラゴンボート乗船体験
（第33回森林の市・2019年）

第36回森林の市（2024年）開催の様子



オープニングセレモニー



みーもくん



会場の様子



しまねっことミyakumiyaku



ジビエ・ソーセージ



リース作り



丸太切り（サイズ当て）



木工体験



苔テラリウム



キッズコーナー

味わって」森林を感じることができる空間になっています。

ただ、これまで順調に開催されてきたわけではありません。平成30年（2018年）には台風の接近により、初めて開催中止を余儀なくされました。その後、令和2年と令和3年（2020年～2021年）は新型コロナウイルスの影響で、再び中止となりました。令和4年からは感染対策を行いながら再開し、多くの人の支えによってイベントの灯が再びともされました。

森林は私たちの生活に欠かせない資源であり、気候変動や生物多様性の保全、地域経済とのつながりなど、今まさに注目されるテーマと深く関係しています。森林の市では、こうした背景もふまえて、単に楽しむだけでなく、森林と社会のつながりを実感できる機会がたくさん用意されています。

木を使うことが森を守ることにつながるという事実を知ると、私たちの暮らしの見え方も少し変わってきます。持続可能な社会に向けて、都市と自然をつなぐこのイベントに、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

この催しが、豊かな森林づくりと木と暮らす関心を広げるきっかけになれば幸いです。

■ お問い合わせ・最新情報

開催予定日 令和7年10月26日（日）10:00～15:30

出展団体、ステージスケジュール、ワークショップの詳細等については、近畿中国森林管理局ホームページ等にて順次公開予定です。なお、天候等により内容が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/>

